

(2) 小学校社会

出題方針

- ア 学習指導要領の目標、内容に即し、第3学年及び第4学年の内容、第5学年「我が国の農業や水産業の様子と国民生活との関連」から出題する。
- イ 「社会的事象への関心・意欲・態度」「社会的な思考・判断」「観察・資料活用の技能・表現」「社会的事象についての知識・理解」の4つの観点から出題する。

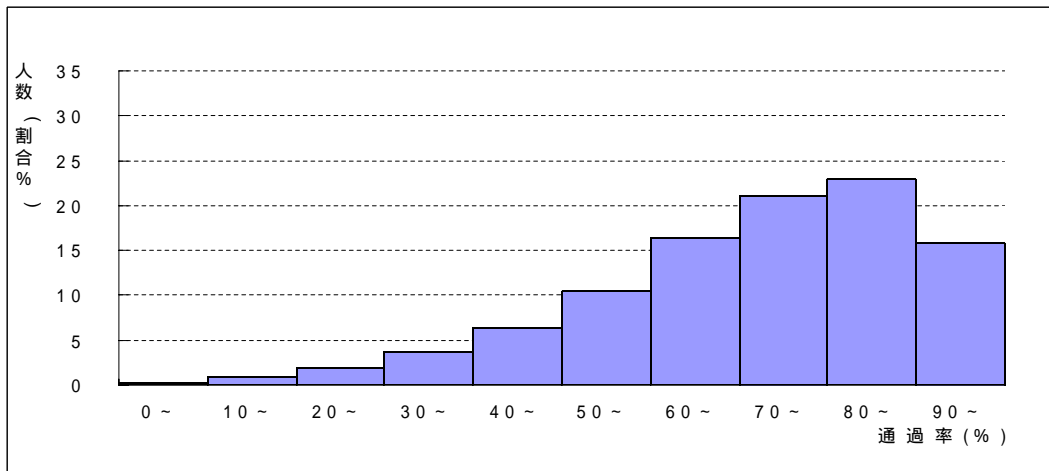
通過率と通過率分布

ア 通過率

通 過 率	設定通過率
70.1	70.0

イ 通過率分布

(以上) 通過率 (未満)	0 ~ 10	10 ~ 20	20 ~ 30	30 ~ 40	40 ~ 50	50 ~ 60	60 ~ 70	70 ~ 80	80 ~ 90	90 ~ 100(以下)
分布(%)	0.3	0.9	1.6	3.3	5.6	14.0	19.3	26.1	21.1	7.9



考 察

通過率は、70.1%で、設定通過率と同程度であり、学習内容の定着については、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

通過率70%以上の児童の割合は約60%であり、学習内容はおおむね定着していると考えられる。

各設問の通過率

評価の観点

自然事象への関心・意欲・態度
科学的な思考
観察・実験の技能・表現
自然事象についての知識・理解

難易度

A：基礎・基本 B：標準 C：応用

過去問

県：H14山口県学力調査問題

国：H15国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程実施状況調査問題

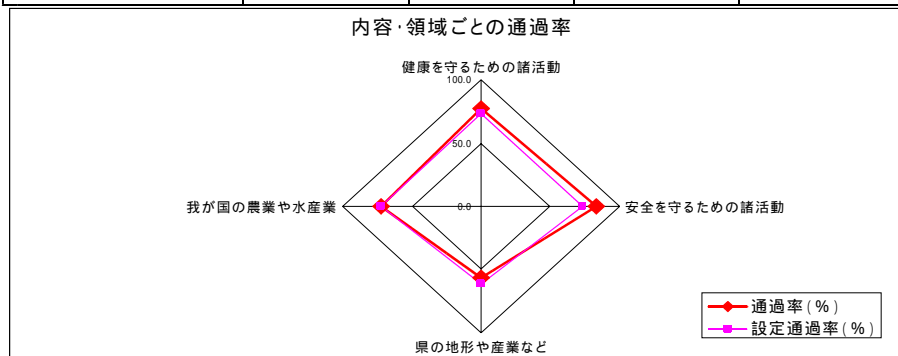
問題	連番	領域	評価の観点	難易度	過去問	内 容	通過率	設定通過率
1	(1)	1	健康を守るための諸活動	A		上水道の確保	80.9	80.0
	(2)	2		A		上水道の使用量の変化	92.5	85.0
	(3)	3		B		上水道の使用量の増加の原因	79.7	65.0
	(3)	4		C		上水道の使用量の増加の原因	43.3	60.0
	(4)	5		B		節水のために自分にできること	87.4	75.0
2	(1)	6	め安全の諸を守るた	A		火災発生時の関係機関への連絡体制	93.3	80.0
	(1)	7		A		火災発生時の関係機関への連絡体制	95.7	80.0
	(2)	8		C		火災発生時の電力会社の協力内容	51.1	60.0
	(3)	9		B		火災発生時の関係機関の協力	91.0	75.0
3	(1)	10	県の地形や産業など	B		県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子等を地図にまとめていく手順	80.1	70.0
	(2)	11		B		8方位	64.9	65.0
	(3)ア	12		C		山口県を囲む海洋名	57.6	60.0
	(3)イ	13		C		山口県を囲む海洋名	37.8	60.0
	(4)ア	14		C		県内の特色ある産業や地形が見られる地域とそこで生活している人々の様子	39.2	60.0
	(4)イ	15		C		県内の特色ある産業や地形が見られる地域とそこで生活している人々の様子	38.1	60.0
	(4)ウ	16		C		県内の特色ある産業や地形が見られる地域とそこで生活している人々の様子	63.3	60.0
	(4)エ	17		C		県内の特色ある産業や地形が見られる地域とそこで生活している人々の様子	70.2	60.0
4	(1)	18	我が国の農業や水産業	B	国	野菜の生産地を調べる方法	67.7	75.0
	(2)	19		A	国	畜産物の生産と自然環境との関係	83.8	80.0
	(3)ア	20		B	国	主な果物の生産地	62.6	75.0
	(3)イ	21		B	国	主な果物の生産地	73.4	75.0
	(4)	22		B	国	外国から輸入している食料	81.8	70.0
5	(1)	23		B	国	稲作の盛んな地域の工夫	82.8	75.0
	(2)	24		B	国	品種改良	34.2	65.0
	(3)	25		B	国	稲作の工夫の共通点	85.0	75.0
6	(1)	26		B	国	水揚げ量の多い港名	72.1	70.0
	(1)	27		B	国	水揚げ量の多い港名	72.8	70.0
	(1)	28	B	国	水揚げ量の多い港名	68.3	70.0	
	(2)	29	B		主な漁港の分布	81.1	75.0	
	(3)	30	B	国	よい漁場の条件	72.3	70.0	
	平均							70.1

考 察

全問題のうち、通過率が設定通過率を上回るものが12問、同程度
のものが10問、下回るものが8問である。このことから、学習内容
はおおむね定着していると考えられる。

内容・領域ごとの通過率

内容・領域等	健康を守るための諸活動	安全を守るための諸活動	県の地形や産業など	我が国の農業や水産業
通過率(%)	76.8	82.8	56.4	72.2
設定通過率(%)	73.0	73.8	61.9	72.7



考察

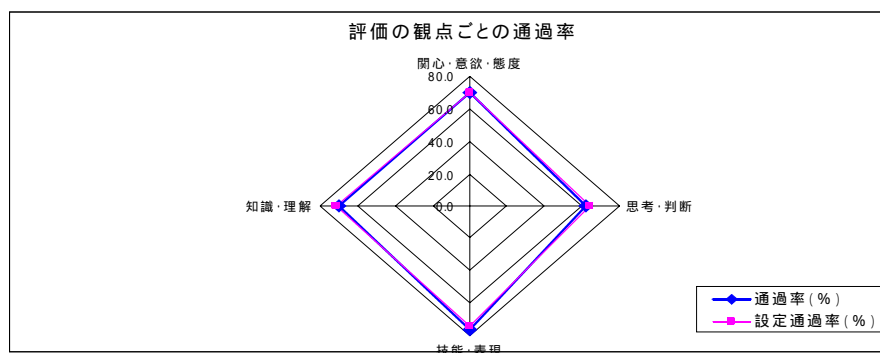
「安全を守るための諸活動」については、通過率が設定通過率を上回っていることから、「良好」な状況と考えることができる。

「健康を守るための諸活動」「我が国の農業や水産業」については、ほぼ同程度であることから、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

「県の地形や産業など」については、「おおむね良好とはいえない」状況と考えることができる。

評価の観点ごとの通過率

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
通過率(%)	70.1	62.3	76.2	70.0
設定通過率(%)	70.0	63.9	73.9	71.4



考察

すべての観点において、通過率が設定通過率を上回るか、ほぼ同程度であることから、「おおむね良好」な状況と考えることができる。

今後の指導について（指導方法改善のポイント）

全 体

全体的には、学習内容の定着は、「おおむね良好」な状況と考えられるが、今後とも、体験的・問題解決的な学習など多様な学習活動を効果的に取り入れ、児童が自ら主体的に問題を追究する授業への改善を図ることが必要である。

「県の地形や産業など」については、課題があると考えられることから、基礎的事項の定着を図るとともに、複数の資料を相互に関連付けて考える力などを伸ばしていく学習を工夫することが必要である。

内容・領域別

健康を守るための諸活動

- ・ 「おおむね良好」な状況であるが、生活様式の変化の図から水の使用量の増加の原因を記述する問題の通過率が低いことから、図表等から社会的事象を推測する学習を十分に取り入れることが大切である。

安全を守るための諸活動

- ・ 設定通過率を大きく上回っているが、火災発生時の関係機関の協力内容を記述する問題の通過率が、他の問題に比べて低いので、安全を守るために様々な機関が協力していることを理解する学習を工夫することが大切である。

県の地形や産業など

- ・ 山口県を囲む海洋名を問う問題や地域を紹介したカードの地図上の位置を問う問題の通過率が低いことから、地形や産業などの特色に対する理解を深める学習をさらに充実させることが必要である。
- ・ 常に地図を教室に掲示するなど、日常的に地図の見方や地形について学習する機会を増やしたり、主な都市の名称、位置、方位などを確認する学習を取り入れたりすることで、児童が地図に関心をもち、理解を深めるよう工夫することが大切である。

我が国の農業や水産業

- ・ 「おおむね良好」な状況であるが、国の調査結果と同様に、品種改良の用語を問う問題の通過率が低いので、基礎的事項を確実に理解する学習を充実させるとともに、今後とも、統計資料や分布図等を読み取る力の育成を一層重視することが大切である。